

# なるほど! 子どもの栄養

## 健康管理の一助として、「Newヤクルト」を学童保育で提供

腸内環境の大切さを学んだことがきっかけとなって、学童保育中に出しているおやつの内容を再検討。腸内環境改善など食からの健康管理を考えた結果、「Newヤクルト」の提供を開始しました。

取材協力

奈良市立放課後児童クラブ 西大寺北バンビーホーム

### 施設概要

「ただいま!」と帰ってくる子ども達を学校敷地内の専用施設で保育  
1年生から6年生までの児童を、授業終了時から19時まで保育。



## 約8割の子どもが「Newヤクルト」を選択

西大寺北バンビーホームでのおやつ時間は、15時から15時30分。飲み物とお菓子がそれぞれ複数用意され、子ども達が自分で選ぶ方式です。乳製品は、「Newヤクルト」と食べるヨーグルトが提供されています。以前は他社の乳酸菌飲料でしたが、平成29年の夏に「Newヤクルト」に切り替えました。



甘い物、しょっぱい物、冷たい物など味や栄養のバランスを工夫  
「Newヤクルト」は子ども達にも好評で全体の8割が選択



施設から  
ひとこと

大勢の子ども達が一緒に長時間過ごす学童保育では、**健康管理が重要。**

おやつ変更の経緯やスタッフの考えは、どうだったのでしょうか?

続きは  
裏面へ

## 導入のきっかけはヤクルトの出前授業「おなか元気教室」

食育の一環として実施した「おなか元気教室」で菌や腸の話聞いたことが、「Newヤクルト」を導入するきっかけでした。子ども達も喜んで話を聞いていたので、従来品からの切り替えもスムーズにいくものと判断しました。従来品より価格は少し高くなりますが、より良質で健康管理の面でもプラスになる製品を選ぶ方が保護者にも喜んでもらえると考えたのです。



## 保護者は「学校も学童も休まずに行ってもらいたい!」

学級閉鎖になってしまうと、本人は健康であっても出席できなくなります。さらに、学級閉鎖が終わった頃に本人が病気になってしまうと、学級閉鎖の期間と本人が病気している期間を合せた期間、その子は学校に行けなくなってしまう。子ども自身が辛いばかりでなく、そのために保護者が仕事を長期間休まなければいけなくなったという声が、毎年数例聞かれます。



## 「ヤクルトを選んだ安心感を保護者にも伝えたい」

普段から健康管理には気をつかい、手洗いやうがいなどを指導しています。「Newヤクルト」は他の地域で健康管理の一環として活用されている事例も拝見していますので、今後に期待しています。保護者にも、健康管理の一助として「Newヤクルト」を選んだという安心感を伝えていきます。

バンビーホーム  
職員の皆さんです。



## なるほど!メモ

### ヤクルトの出前授業「おなか元気教室」

子ども達に正しい食習慣・生活習慣を身につけてもらうために、ヤクルトグループでは、小学生を主な対象とした出前授業を実施しています。うちの状態や腸の大切さ、腸における乳酸菌の働きなどを楽しく学べる45～60分の授業です。年間に約3,000回、20万人の方にご参加いただいております。また海外でも8の国と地域で実施しています。

2015年 文部科学省「青少年の体験活動推進企業表彰」審査委員会奨励賞を受賞。  
ご希望の場合は、担当のヤクルト販売会社までお気軽にお問い合わせください。

